

水道の使用に関するアンケート結果報告書（市民向け） 概要版

1 調査目的

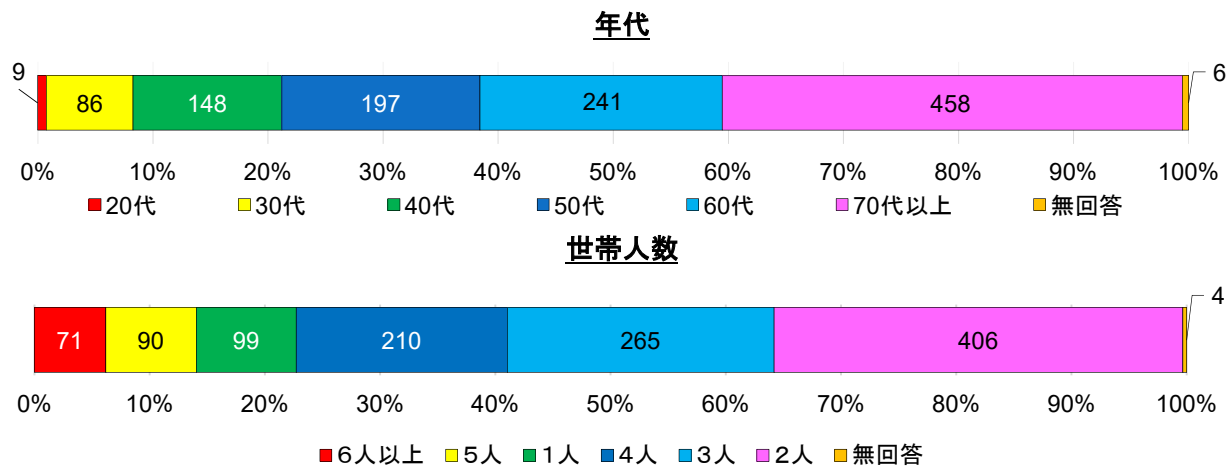
今後の人口減少社会を迎えることや節水をはじめ、水道水の使用状況などが変化していることも踏まえて、将来にわたって安定して、安全で安心な水道水を市民の皆様を提供できる水道事業経営のあり方を検討する中で、市民の皆様における水道水の使用状況などを把握する資料とします。

① 調査概要	
調査項目	水道事業に関する設問 全 26 問
調査対象	水道水を使用している豊田市民(令和 3 年 3 月末時点)から無作為に抽出した 2,000 世帯
調査地域	豊田市内
調査方法	調査票を郵送にて配布・回収（インターネットによる回答の回収も実施）
調査期間	令和 3 年 7 月 1 日～7 月 30 日
② 回収結果	
回答数	1,145 人
回収率	57.3% (1,145 人/2,000 人)

※グラフ上の数値は回答数を表しています。

2 回答者の属性

回答者は 70 代以上が最も多く、60 代、50 代の順に多く見られます。一方、20 代の回答が最も少ないです。また、回答者の世帯人数は、2 人世帯が最も多く見られます。

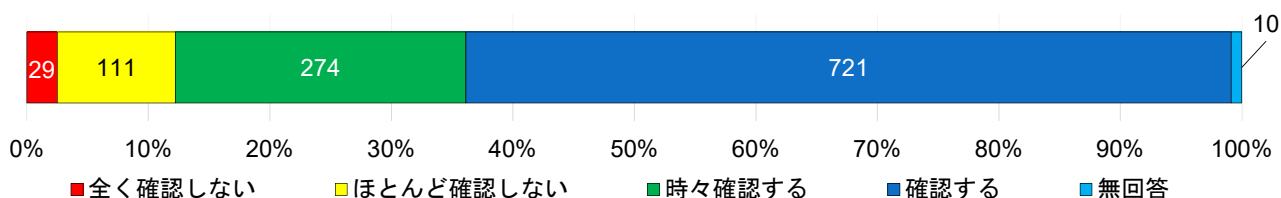


3 水道水の使用状況について

3.1 使用水量について

アンケートに回答した人のうち 80%以上が、使用水量のお知らせについて、「確認する」「時々確認する」と回答しています。

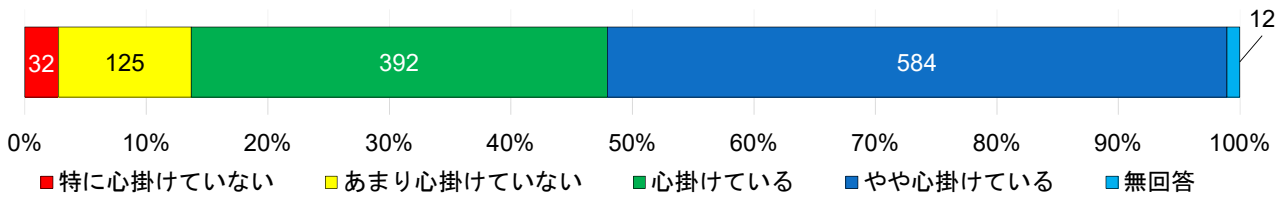
「使用水量のお知らせ」を確認しているか



3.2 節水について

普段の節水についても、「心掛けている」「やや心掛けている」と回答した人は全体の80%以上となり、大多数の市民が使用水量に関心を持ち、節水意識をもって節水に取り組んでいることがわかります。

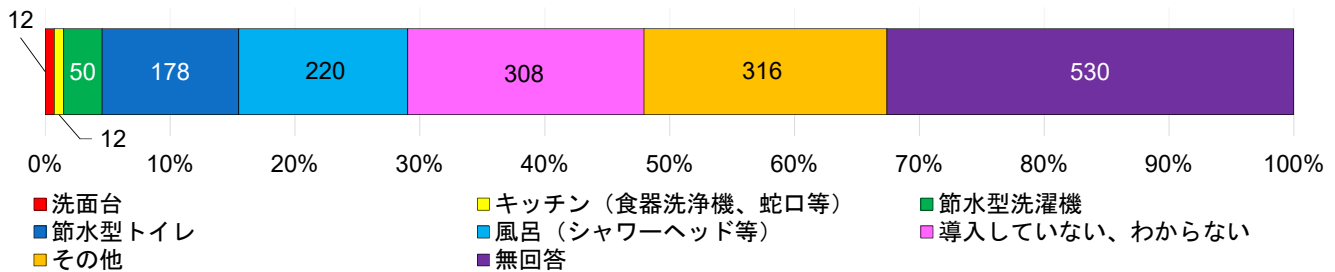
普段、節水を心がけているか



3.3 節水方法について

節水方法としては、「その他」の回答が最も多く、具体的な取組としては「風呂（シャワーヘッド）」「節水型トイレ」「節水型洗濯機」が多く見られます。節水意識の高さと節水機器の導入が、水道使用量減少の一因となっていると考えられます。

具体的な節水方法（複数回答可）

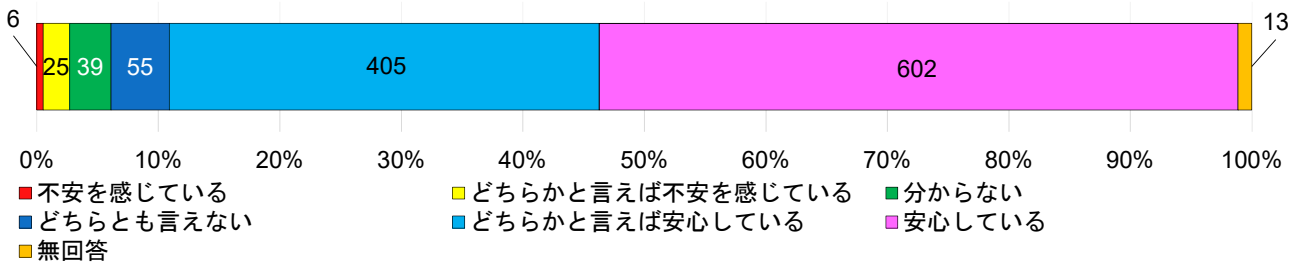


4 安全性と備蓄状況

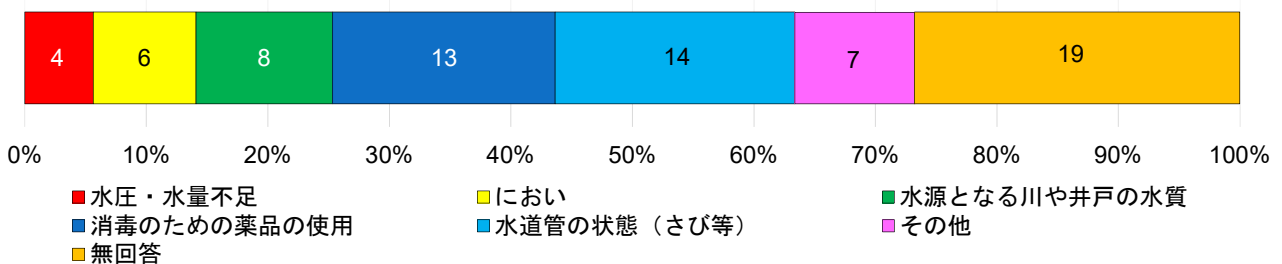
4.1 水道水の安全性について

水道水の安全性については、80%以上の方が安心感を持っています。一方で、水道水に不安を感じる理由については、「水道管の状態（さびなど）」と「消毒のための薬品の使用」が多く見られます。

豊田市の水道水の安全性について



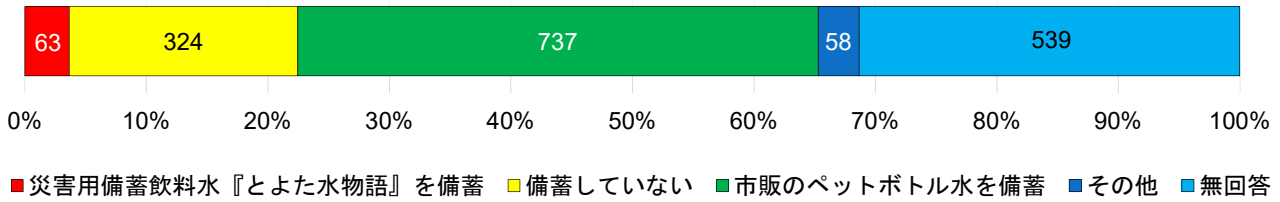
水道水に不安を感じる理由（複数回答可）



4.2 災害用の飲料水備蓄について

災害に備えて飲料水を備蓄している人は、「市販のペットボトル」を使用している人が最も多く見られます。多くの市民が災害への危機意識を持っていることがわかります。

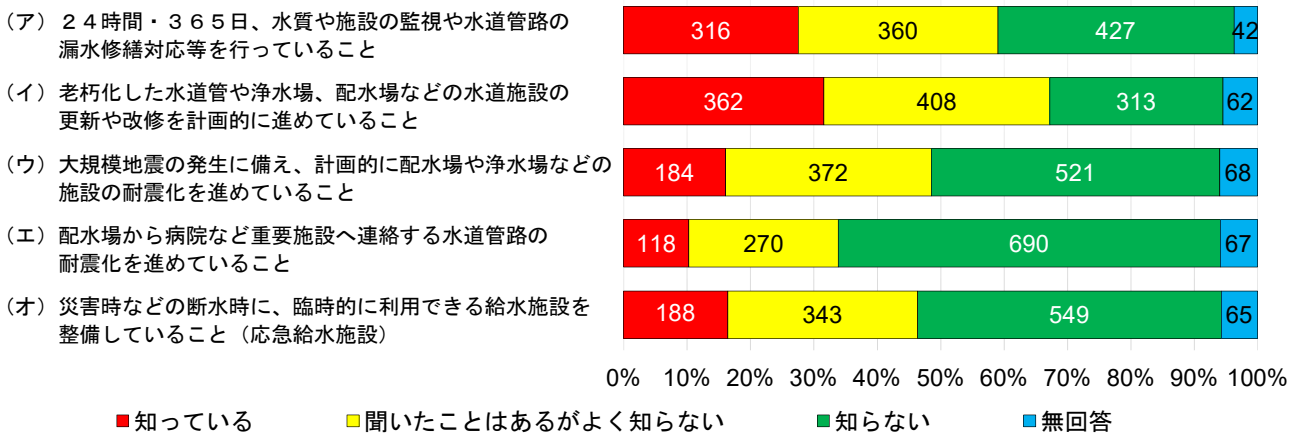
地震等の災害に備えた飲料水の備蓄状況



4.3 上下水道局の取組について

水道事業の安全性を高める取組（老朽設備の更新、耐震化等の実施）の認知度は10～30%程度であることがわかります。これらの取組について積極的な広報や丁寧な説明に努めて、認知度を向上することで、料金改定の理解を深めてもらうことができると考えられます。

上下水道局で行っている取組を知っているか

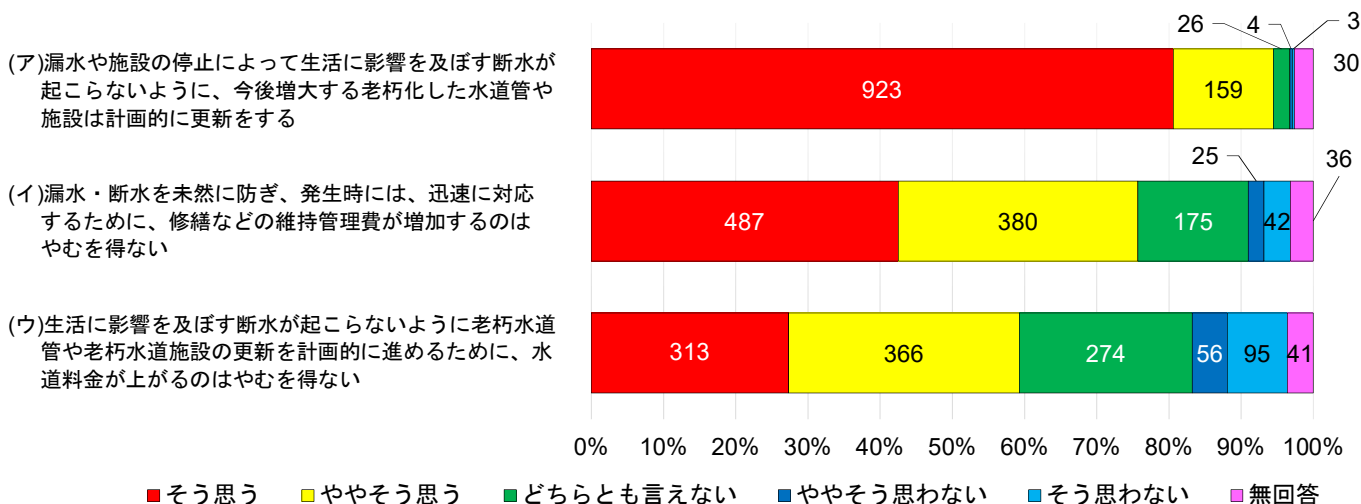


5 水道事業について

5.1 水道施設等の修繕について

水道の施設、管路の更新・修繕については、ほとんどの回答者が更新の必要性を感じる旨を回答しており、そのために水道料金が上がるのがやむを得ないと回答した割合も60%程度となっています。

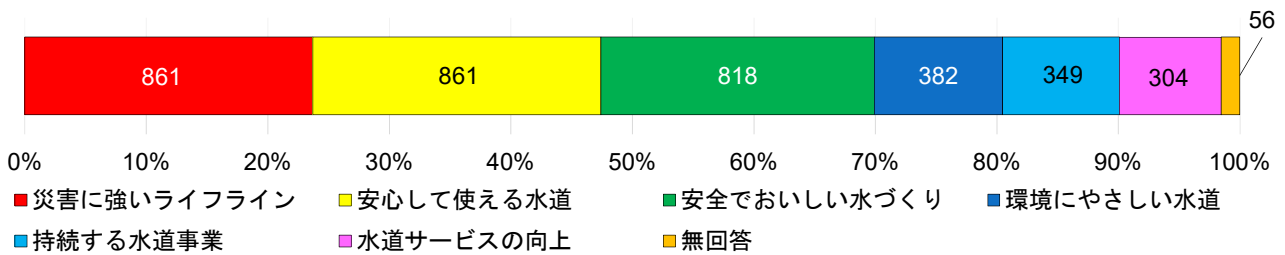
水道の施設・管路の更新・修繕について



5.2 水道事業に対して重要だと思うこと

水道事業に対して重要だと思うことは、「災害に強いライフライン」と「安心して使える水道」の回答が最も多くなっており、次いで「安全でおいしい水づくり」の順に回答が多くなっています。

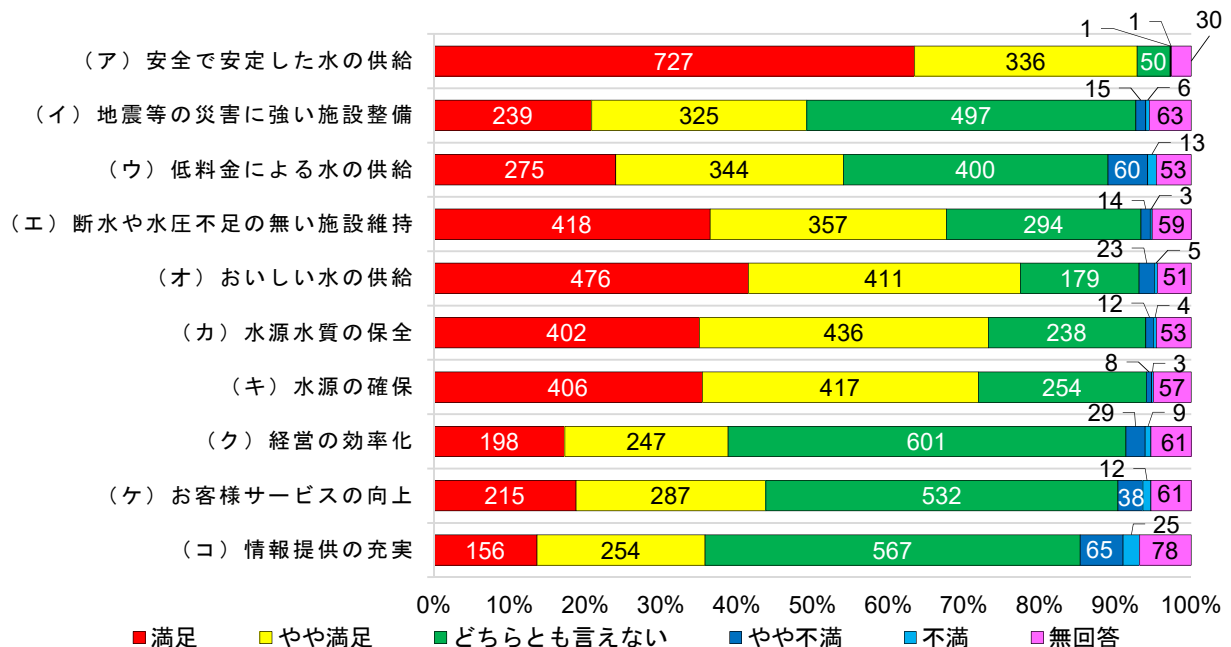
水道事業に対して、重要だと思うことはどれか（複数回答可）



5.3 水道事業に対する現状の満足度

水道事業についての現状の満足度は、「安全で安定した水の供給」が最も多く、次いで「おいしい水の供給」「水源水質の保全」の順に回答が多くなっています。

水道事業についての現状の満足度



以上の結果から、上下水道局の現状に対して市民から一定の評価を得ていることがわかりますが、今後も安全・安心で、災害に強いライフラインである続けることが期待されています。

6 アンケート結果の概要

- 水道使用量への関心と節水意識については 80%以上の市民が持っていることがわかります。
- 水道インフラの老朽化に伴う対応の必要性はほとんどが肯定的な回答になっているほか、そのための料金値上げについては、約 60%の人が肯定しています。
- 水道水の安全性や安定供給に対する信頼は高い結果になっており、事業への満足度も高くなっています。一方で、情報提供に関する事業への満足度は他項目に比べて低く、水道事業の認知度向上の余地が見られます。

豊田市上下水道局では、将来にわたり災害に強い施設を構築するとともに、安全・安心な水道水を提供できるよう取り組んでいきます